

滋賀県がん対策推進イベント  
～広げよう！がんの知識とささえ愛～  
実施報告書



滋賀県健康づくりキャラクター しがのハグ&クミ

がん対策推進イベント実行委員会

「滋賀県がん対策推進イベント～広げよう！がんの知識とささえ愛～」  
実施報告書の発刊にあたって

平成 25 年 10 月 27 日、米原会場（滋賀県立文化産業交流会館）と長浜会場（豊公園）にて開催しました「滋賀県がん対策推進イベント」は、多くの方々のご協力のもとで無事に終了することができました。米原会場では約 400 名、長浜会場は昼の部約 300 名、夜の部約 200 名、合計約 900 名という、大変多くの皆様にご参加いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月に改定した滋賀県がん対策推進計画では、「がんの予防」、「がんの早期発見」、「がん医療の充実」を強化し、新たに「就労等社会問題への対応」、「小児がん対策の推進」、「がんの教育や社会の理解を深める普及啓発」を推進していくとしており、この第一歩として、県民、がん患者と家族、関係機関、事業所、行政がともに考える機会として今回のイベントを開催しました。

多くの団体によるブース展示では、がんの正しい知識の普及啓発や、がんの苦痛軽減のための情報提供、がん患者の活動紹介など多くの情報を発信していただき、講演やトークショーでは出演者の貴重な闘病体験から、切実な思いや今後への期待も込めて、様々な問題提起をしていただきました。コンサートや長浜城のライトアップでは、普段がんにあまり関心をお持ちでない年齢層の皆様にもがん対策の推進にむけての取組みを知っていただくことができました。今回のイベントの開催が、がん対策のさらなる広がりや推進につながることを切に祈っています。

最後になりましたが、このイベントの趣旨に賛同し、ご支援とご協力をいただきました、後援団体、協賛団体をはじめ、関係機関の皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後の活動につきましても末永いご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 2 月

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会  
委員長 越智 眞一



# 目 次

実施内容	1
米原会場	2
米原会場プログラム	3
ブース出展団体および内容	4
滋賀県健康づくりキャラクター表彰式	5
滋賀医科大学学生によるステージ発表	6
講演「明るくさわやかに生きる」～アグネスの見つめた生命～	8
トークショー「がんのつらさを和らげる」	10
長浜会場	12
長浜会場プログラム	13
ブース出展団体および内容	14
検診・相談の実績	15
「滋賀県がん対策推進イベント」アンケート結果	16
後援団体	19
協賛団体	20
実行委員	22



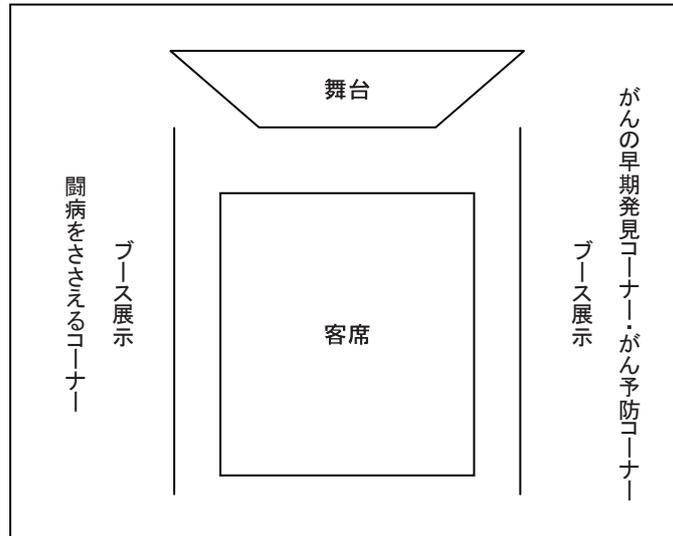
## 实 施 内 容

# 米 原 会 場

# 米原会場プログラム

## ○メイン会場 イベントホール

### ・ブース展示 【12:30～17:00】



### ・ステージ

- 13:20 開演  
実行委員長あいさつ
- 13:30 表彰式 プレゼンター:滋賀県知事 嘉田由紀子  
新キャラクター「しがのハグ」「しがのクミ」お披露目
- 14:10 滋賀医科大学生によるステージ発表  
「あきらめないで！がんと共に働こう」
- 15:00 アグネス・チャンさん講演  
「明るくさわやかに生きる」～アグネスが見つめた生命～
- 15:50 トークショー 「がんのつらさを和らげる」  
アグネス・チャンさん、嘉田由紀子知事、堀泰祐医師  
進行:吉川隆一医師
- 16:30 終了

## ○ホワイエ ブース展示・販売ブース【12:30～17:00】

がん患者による作品展 「がんとともに。私の物語」  
大腸トンネル探検隊  
軽食やおみやげの物品販売

## ○5階 無料がん相談 【12:45～16:30】

## ○米原公民館 無料乳がん検診・無料乳がん相談 【13:00～15:00】

## ブース出展団体および内容

	団体名	内容
がん予防	県内7保健所	たばこの害
	彦根市	がんの予防の観点から、味覚チェック(塩分濃度)
	米原市	食物繊維の効能
	米原市健康推進員	野菜たっぷり味噌汁の提供
	カイゲンファーマ株式会社	海の食物繊維飲料(コレカットレモン)の配布
早期発見	滋賀県立成人病センター疾病・介護予防推進室	医師による健康相談 がん検診、がん登録に関する冊子の配布
	アフラック	作品展示とパネル・模型展示
	ブレイブサークル	大腸トンネル探検隊 大腸がんクイズラリー、便潜血を探そう
	滋賀県臨床検査技師会	がん細胞パネル展示、顕微鏡等によるがん細胞観察 検査関係資料の配布
	東京海上日動火災保険株式会社	乳がん視触診モデルの展示、がん検診受診啓発
	堀井薬品工業株式会社	胃がん検診被検者向けポスターの掲示
闘病を支える	日本イーライリリー株式会社	がん患者作品展「がんとともに。私の物語」 「私のがん医療への夢」
	滋賀県がん患者団体連絡協議会	
	中外製薬株式会社	がん患者向け啓発冊子の配布
	滋賀県がん診療連携協議会	病院、がん相談支援センター、患者サロン等の紹介 がん相談
	大津赤十字病院	
	滋賀医科大学医学部附属病院	
	滋賀県立成人病センター	
	公立甲賀病院	
	彦根市民病院	
	市立長浜病院	
	株式会社大井製作所	
	滋賀県理学療法士会	がんのリハビリテーション紹介ポスター、冊子の展示
	滋賀県作業療法士会	作業療法士の活動紹介
	滋賀県放射線技師会	乳がんの診断から治療まで
	滋賀県歯科衛生士会	口腔ケアパンフレットの配布と歯科相談
	冊子「食事に困ったときのヒント」の配布	



## 販売ブース出店団体および内容

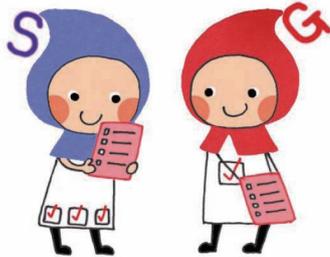
団体名	内容
クリエートプラザ東近江	自主製品の販売(クッキー、ガトーショコラ、うどん、こぎん刺し、ビーズ、ぼんぼこたぬき)
株式会社四番町スクエア	ひこにゃんグッズ、菓子類等の販売
社会福祉法人かすみ会つばきはらファクトリー	自主製品(ワッフル等)、コーヒーの販売



# 滋賀県健康づくりキャラクター表彰式

滋賀県に、健康づくりのPR、健康診査・がん検診等の受診率の向上を図るためのキャラクターが誕生しました。そのデザイン、愛称、キャッチコピー、それぞれの部門で、優秀作品に選考された皆様を表彰し、着ぐるみをご披露しました。

## <最優秀賞受賞作品ご紹介>



「しがのハグ」 「しがのクミ」

「大人ももらおう！大事なからだの成績表」

## <受賞者ご紹介>

### ○デザインの部

最優秀賞 横川 珠央さん  
優秀賞 岡村 幸恵さん  
〃 岡本 實さん

### ○愛称の部

最優秀賞 橋本 晋さん  
優秀賞 鷲見 一行さん  
佳作 栗林 悦子さん  
〃 田中 月菜さん

### ○キャッチコピーの部

最優秀賞 松岡 祐里さん  
優秀賞 八木 彩花さん  
佳作 田中 真弓さん  
〃 景山 文香さん



## 滋賀医科大学学生によるステージ発表

### 「あきらめないで!がんと共に働こう! ～がん患者さんの就労について考える～」



【出演】：滋賀医科大学医学部4年生

青柳 潤さん 岡本 理子さん 賀須井 悠莉さん 九住 龍介さん  
高祖 麻美さん 田口 俊亮さん 田中 千賀さん

【趣旨】

2007年にがん対策基本法が制定され、滋賀県でもがん対策推進計画が策定された。2012年の改定では、がん患者の就労問題を含む、「患者・家族の生活と治療の両立」が大きな目標のひとつに加えられた。

滋賀医科大学医学部医学科では、4年次に「社会医学フィールド実習」というカリキュラムがある。その中で、「がん患者の就労問題」にスポットをあて、アンケート調査や聞き取り調査を実施し、学習に取組まれた班員の皆さんが大変多くのことを学ばれた。

そこで、ご参加の皆様にも認識を深めていただくため、学生の皆さんに、学習を通じて理解されたこと、見えてきた課題、県民の皆様にお伝えしたいことを、寸劇を交えながら発表していただいた。

【内容】

#### 1. がん検診の大切さ

演劇①「職場に検診の案内届く」

職場に「がん検診」の案内が届いたけれど、「定期健診」はもう受けたと、仕事が忙しいのを理由に、検診を受けないことにした。

\* 演劇の後、がん検診が早期発見に重要なことや、職場やお住まいの市町で受けられることなどについて解説。

#### 2. 告知後のショック期について

演劇②-1「家庭にて異変に気づく」

最近便に血が混じっていることに気づいたが、多分痔だろうと思ひ込もうとする。しかし、家族に促され渋々病院へ。

演劇②-2「がんの告知」

検査の結果、痔ではなく悪性腫瘍と判明。突然のがん宣告にショックを受け、どんな治療を受けるのか、仕事はどうすればいいのか、誰に何を聞けばいいのかもわからず困惑する。

\* 演劇の後、告知後のショック期に、医師はインフォームドコンセントとして多くのことを説明し、患者自身に選択を迫るが、患者は突き放されたような気分になる。患者ががんを受容するための期間には、周囲に寄り添う者は、暖かい雰囲気作りや言葉がけを心がける必要があることなどについて解説。

### 3. 患者さんを支える制度・仕組み

#### 演劇③「治療中の苦勞」

術後、職場に復帰しながらの抗がん剤治療。多くの時間と多額の費用を要する治療に不安を覚える。そんな時、がん相談支援センターを見つけて立ち寄り、高額療養費制度を紹介してもらう。

\* 演劇後、患者を支える制度やしくみについて解説。一般的ながんの治療にかかる費用と、経済支援として①高額療養費制度②傷病手当金③医療費控除④障害年金等の制度と、利用可能な相談施設として、①がん相談支援センター②がん患者サロン等を紹介。

### 4. 職場からの支援

#### 演劇④「私、充実して働いています」

治療と仕事の両立にも慣れ、更に自分にとっての仕事の大切さに気づき、産業医と相談の上、以前からの希望の部署へ異動願いを提出。充実した毎日を過ごしている。

\* 演劇後、産業医の仕事や役割、地域産業保健センターについて解説。

#### 【まとめ】

- ・がん治療による体や生活への負担を少なくするためにも、毎年がん検診を受け、がんを早期に発見して欲しい
- ・がんになったら、「このつらさ誰にも言えない…、誰にもわかってもらえない…」と落ち込んでしまう事もあるかもしれないが、周りを見渡せば必ずあなたを支えてくれる制度があり、仲間がいる
- ・治療と就労の両立は可能。仕事を辞めてしまうと復職は難しくなるので、生きがいとやりがいを持ち続けるためにも就労し続けることをあきらめないで
- ・これから医師になる自分たちは就労支援やがん患者さんを支える制度についての知識を深め、適切な機関を紹介し、つなげることと、患者さんのところに寄り添える医師でありたい

以上についてメッセージを伝え、最後に調査で聞き取った、多くの患者さんの言葉を活字にしてスクリーンに映し出された。

## 講演

### 「明るくさわやかに生きる」 ～アグネスの見つめた生命～

アグネス・チャンさん



乳がんのサバイバーとして、日本対がん協会「ほほえみ大使」にも就任され、早期発見でたくさんの方が助かるように、たとえがんになっても不自由なく、差別されずに楽しく過ごせるような社会になるようにと活動されているアグネス・チャンさんに、自身の闘病体験や、がんと闘う仲間、また、健康な皆様へのメッセージをいただきました。

#### 【概略】

私は友人にも「アグネス」ではなく「タフネス」と呼ばれるくらい、いつもパワフル。自分の元気を過信していたので、がん検診も受けたことがなかった。

2006年に出演した番組でたまたま紹介されていた活動「リレーフォーライフ」に参加した後、家でくつろいでいたら胸が痒くなった。しこりのようなものがあるような。リレーフォーライフに参加した直後だったから気になって、初めてマンモグラフィ検査を受けた。胸を見せるのは恥ずかしかったし、痛かった。痛いけど死ぬほど痛くない。命を守る検診だから皆さんにも是非受けて欲しい。最初の1回は辛いけど、1回やっしまえば慣れる。

検査の結果、私は乳がんだった。乳がんの中でも珍しい粘液がんの早期。私は中途半端な知識で勝手に自分は乳がんのリスクは低いと思っていた。私の家族・親戚の中で乳がんになった人はいないし、3人の子供を産んで母乳で育てたし、たばこもお酒も飲まない。母から教わった薬膳料理を取り入れて食事にもすごく気をつけていた。なのになんで私のがんになるの?と思った。泣いてしまった。夫は、「寿命があれば死なないし、寿命がなければ死ぬんだよ。」と、冷たいと思うようなことを言ったが、いつもはあまり慌てない夫がとても慌てていた。お弁当作りに子どもの送迎、掃除や洗濯といった日常生活のことに加え、私にどう接したらいいのかと戸惑っている家族の方がずっと大変なんだと思った。

できるだけ早く切りたいと主治医に言われ、ラッキーにもたまたまキャンセルになったコンサートのスケジュールを利用して、手術をした。早期だけれど、リンパに転移していれば全摘、転移していなければ乳房温存手術に決めていた。目が醒めると看護師や家族や姉が、「手術は成功したよ」「転移はしてなかったよ」「おっぱい残っちゃったよ」と叫んでいた。こんなにもみんなが心配してくれて自分のことのように喜んでくれるのかと思った。我慢していた涙があふれた。

手術のあと病室で、乳がんのことを公表するかどうかをみんなで議論した。姉や母は公表したらみんながアグネスを「キズモノ」として見るといった。日本には差別や偏見なんてないと思うけど、そんなものが残っているなら、がんになっても子育てをしたいし、働きたいし、友だちと楽しみたい。みんなと変わらないんだという姿を見せた方が、みんな

が理解してくれると思って公表した。そうしたら本当にたくさんの方が心配をしてメッセージをくれた。人との出会いを大切にしなければと思い知らされた。

退院後、2か月間の放射線治療。仕事があったから毎朝8時から治療を受けるために7時半には病院に行って順番待ちをした。毎日同じ顔に出会うから友達もできた。放射線友。

放射線治療終了後は再発防止のため5年間のホルモン治療が始まった。毎日1錠だけ飲めばいいと説明を受け、簡単だと思ったら凄い副作用に苦しんだ。術後は痛みや麻痺、手が上がらないなどの症状があったし、放射線治療も決して楽ではなかったけど、ホルモン治療が一番辛かった。副作用はのぼせ、汗、関節痛、頭痛、イライラ、不眠、湿疹といった更年期障害みたいなもの。関節痛は朝起きられないくらい酷くて、湿疹で顔が倍くらいに腫れたことも何度もあった。すごく辛くて、医師をしている姉に相談したら、「ホルモン治療は予防のため。薬を飲んだらがんにならないという保証もないし、飲まないからがんが再発するとも限らないから、止めれば？」と言われたが、一番下の子が中学校を卒業するまで絶対生きていたかったから薬を止めなかった。がんになる予定ではなかったのに、仕事もほぼ毎日。移動やコンサート。副作用で腫れた顔を隠すのが大変だったこともあったけど止めなかった。3年半くらい経ったとき、薬に体が慣れてきて、副作用がほとんどなくなった。いつか必ず体が薬に慣れてくるから今つらい症状と闘っている方も頑張る。

私は今年5年のホルモン療法が終了した。がんになった時5年生で、この子が義務教育を修了するまでは生きさせて欲しいと神様をお願いした子も高校生になり、180cmになった。今度は孫が見たいと神様をお願いしようと思ったけど感謝の言葉しか出てこなかった。

がんは人を選ばない。若くても、年とっていても、東大入っても、お金持ちでも、男でも、女でも、がんにならないように一生懸命頑張っても、なる時はなる。医療は凄く進歩して、もうがんは絶体絶命の病気ではないけれど、でも末期であればやっぱり…。だから自分の命を守る一番の方法は早期発見で、早期発見には検診を受けるしかない。がんになるのは怖くない。がんになった事を知らないのが怖い。

乳がん患者の数はどんどん増えている。14人に1人が乳がんになる。乳がんの死亡率もずっと上昇を続けていたけど、昨年初めて低下した。すごく僅かだけど、すごく大きいこと。すごく嬉しい。でもまだ毎年1万2千人以上の人たちが乳がんで亡くなっている。ぜひぜひ検診を受けてください。

リレーフォーライフで覚えたことは命は終わらないということ。小刻みの命、アグネス・チャンという命は終わるかもしれないけど、でも大きな意味での命は終わらない。先輩がやり残したことを私が引き継ぐことで先輩は私を通して生きているし、私がやり残したことは後輩が引き継いでくれることで私は後輩を通して生きることができる。まさしく命のリレーだと思った。襷を繋げて、命を繋げていく。走れる時はできるだけ明るく爽やかに走りたい。贅沢を言えば美しく。これからも皆さんと一緒に明るく爽やかに生きていきたい。そして出来るだけ皆さんと長生きしていきたい。お互いに生活に気を付けて、そして検診へ行きましょう。定期的に受けましょう。1回受けたら終わりではありません。

## トークショー

### 「がんのつらさを和らげる」



<出演者> アグネス・チャンさん  
嘉田 由紀子滋賀県知事  
堀 泰祐 医師  
  
<進行> 吉川 隆一 医師

がんの予防や早期発見だけでなく、がん患者を理解し、支えられる社会づくりについて会場の皆様とともに考える機会とするため、サバイバーである出演者にご自身の体験や思いを語り合ってくださいました。

#### 【概 略】

嘉 田：最近の県民の皆さんの調査によると、力を入れて欲しい施策の1位は、「在宅医療の推進や介護サービスと医療施設の整備」で、充実してほしい医療分野は、「がん医療」であった。

私は1992年に胃がんを経験したが、この頃はまだ医師は患者にがんであることを言わなかった。がんはまだ不治の病という印象が強く、病気を治すことが目的の医療であったため、治せない病への対応が難しいようであった。今はがんを告知するようになり、がんになっても仕事や社会的活動を維持できるようになった。

滋賀県がん対策推進計画でも「いのちとからだ」から「こころとくらし」まで、物理的にも社会的にも本人や家族の苦痛を和らげ、トータルに人生を豊かにしようという計画を立てている。

堀：私は10年前まで乳腺外科医だった。患者は病気以外にも、家庭、仕事などさまざまな苦痛を抱えていて、辛さに焦点を当てた、「こころとからだのケア」の必要性を感じ、緩和ケア医になった。

苦痛を軽減することが緩和ケアだが、県民の認知度調査では、緩和ケアは終末期にホスピスで行われる痛みや身体症状のみへのケアであると思われる方が多かった。がんはその辛さからうつになる人も多い。病院だけでなく、在宅や介護施設でも、がんの初期から最期まで、多職種のチームで関わり、「いつでもどこでもだれにでも」緩和ケアはなされるべきものである。

吉 川：がんになって一番辛かったことは何ですか。

アグネス：副作用で腫れた母の顔は子どもも夫も見たくない。どうにもしてあげられなくて家族は心配なんだろうなと思うと辛かった。でも一緒にいる家族はまだましで、寮に入っていた次男は勉強が手につかなくなっていたことが後で分かって、遠く離れたところにいる子どもへのケアも大切だったと思った。周りの家族への打撃が自分のことより辛かった。

嘉 田：私のがんになった時、子どもはまだ高校生と中学生で、子どもが結婚するまで生きていたいと思った。手術のとき家族みんなが病院に泊まり込んで支えてくれた。

仕事でも、琵琶湖博物館構想半ばでの治療となったが、入院後も「あなたがやりたかったことはこういうことでしょ」と職場のみんなが引き継いで構想を形にしてくれた。個人が仕事をするのではなく組織が仕事をするのだと痛感した。

がんになって家族の大切さ、組織の大切さを改めて教えていただいた。

堀：私は医者だが、告知を受けた時はやはりガーンと思った。3か月後に長男が結婚する時期だったので孫の顔は見られるかなと思った。医者でも理性的に立ち向かうことは難しい。

胃を全摘し、何を食べても物の味がしないし、下痢しやすく、常にトイレの場所を気にしなくてはいけなかったのが辛かった。同じく胃を全摘した先輩医師の話を書き、同じ症状があったことに安心した。

がんになったおかげで自分自身が成長することができたし、今生きていることに感謝し、家族のありがたさを再認識した。

吉 川：私も実は検診でがんが見つかったが、早期だったので内視鏡で摘出し、皆さんのような辛さはなかった。検診で見つければ軽く済むので、ぜひ検診を受けて欲しい。

皆さんは辛さを和らげるためにどんなことをされましたか。どんなことに取組めばいいとお考えでしょう。

アグネス：仲間づくり。ほほえみ大使に就任し、リレーフォーライフやピンクリボン運動でたくさんの仲間ができた。頑張っている人、亡くなった人、子どもががんと闘っている人…。つながりは“がん”という強い絆。1人で悩まないこと、落ち込んだら出かけてくること。仲間と一緒にいたら強くなれるから。

嘉 田：私もやはり仲間づくり。滋賀県が目指しているのは、患者同士や家族などの仲間づくりと、その周りを多職種の専門家による医療チームが支えられる体制の整備。それと患者力（人間力）をつけること。

現在県議会で議員を中心にがん条例策定の準備をいただいております。県と県議会とで、誰しものががんと共に暮らせる社会の仕組みづくりを考えています。

堀：がんに関する悩みがあればがん支援センターへ相談しましょう。また、がん患者サロンに参加して、同じ病気の患者さんたちと交流することで力をもらうのもよいこと。

もうがんは自分には関係ない時代ではない。「なんで私が」ではなく「やっぱり私も」の時代。一人ひとりががんに関心を持ち、正しく理解することが大切。がんになってもこわくない。支援センターもあるし、仲間もいる。前向きに行動しましょう。

アグネス：もし乳がんが再発したら積極的に治療した方がいいですか、もう諦めた方がいいですか

堀：治療は本当に進んでいる。新薬も次々に出ている。決して諦めないで。再発＝死ではない。再発して治癒する人も出てきているので、もし再発しても頑張ってお治療を受けてください。

吉 川：2人に1人ががんになるという時代。一病息災という言葉があるが、がんになって一病息災というのは、昔は到底考えられなかったが、今は2人に1人ががんになるという時代。がんになって、あるいはがんの治療をして治ったあと再発を抑えるために療養している人の数がどんどん増えてきている。そうする事によってむしろ長生きできるというような時代がきたことは素晴らしいことだ。まだまだがんのつらさを和らげる為の努力は医療界にも患者さんサイドにも必要であるとは思いますが、将来的に一病息災と言えるような病気になる時代が来る事を期待して今日のトークショーを終わります。

最後に滋賀県がん対策推進イベント実行委員である、滋賀県がん対策推進議員連盟 谷 康彦議員より、「滋賀県がん対策の推進に関する条例」の制定を目指し、要綱案を取りまとめた。また、がんに関する理解と関心を深めるため、2月4日～10日の一週間を「滋賀県がんと向き合う週間」としたい。このことについて、明日から県民の皆さんからの御意見・情報の募集を行うので、滋賀県議会HPをご覧くださいとの情報提供があった。

長 浜 会 場

## 長浜会場プログラム

○メイン会場 豊公園噴水広場

【14:00～17:00】

- ・ブース展示
- ・地元若手ミュージシャンコンサート「PINK-RIBBON-LIVE2013」



<出演者>

VeniVeni

MrPPPTリオ

～Lefa～

Wood Garage

DJつよし



【日没～21:00】

- ・長浜城歴史博物館外壁ライトアップ

○長浜ロイヤルホテル 【16:00～17:00】

- ・無料乳がん検診



## ブース出展団体および内容

団体名	内容
長浜赤十字病院	啓発資料の配布
市立長浜病院	家族性乳がん遺伝子検査の展示等
長浜保健所	スモーカーライザー測定
長浜市	乳がんモデルの展示と自己触診指導
あけぼの滋賀	乳がん啓発資材配布
ピンクリボン長浜実行委員会	体にいいスープと軽食の提供

## ボランティア協力団体

ピンクリボン長浜実行委員会

滋賀文教短期大学

滋賀県立看護専門学校

## 検診・相談の実績

### 1. 無料がん相談結果

相談担当者：滋賀県がん診療連携協議会看護師 4 名、ソーシャルワーカー  
2 名、事務職 2 名が担当

相談者数 : 2 名

### 2. 無料乳がん相談

相談担当者：東出医師（市立長浜病院）、滋賀県健康づくり財団職員

相談者数 : 5 名

### 3. 無料乳がん検診結果

#### 1) 米原会場

検診担当者：糸井医師（日野記念病院）、滋賀県健康づくり財団職員、  
滋賀県放射線技師会会員

受診者数 : 22 名

#### 2) 長浜会場

検診担当者：東出医師（市立長浜病院）、滋賀県健康づくり財団職員

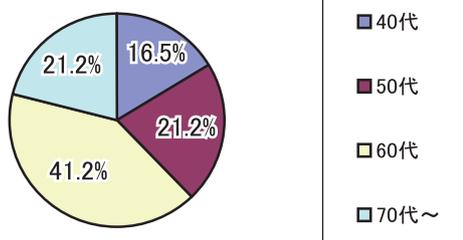
受診者数 : 9 名

## 「滋賀県がん対策推進イベント」アンケート結果

- ◆ 調査日 平成25年10月27日(日)
- ◆ 調査方法 滋賀県がんイベント(米原会場)の出席者に受付で抄録とともに手渡し、終了時に回収
- ◆ 対象者 滋賀県がんイベント米原会場参加者約400人
- ◆ 回答者数 85人(回答率約21%)

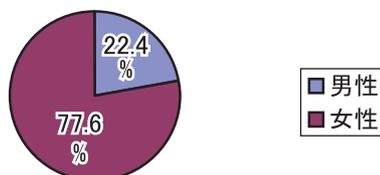
### 1. あなたの年齢をお伺いします

項目	実数(人)	割合
～20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	14	16.5%
50代	18	21.2%
60代	35	41.2%
70代～	18	21.2%
合計	85	100.0%



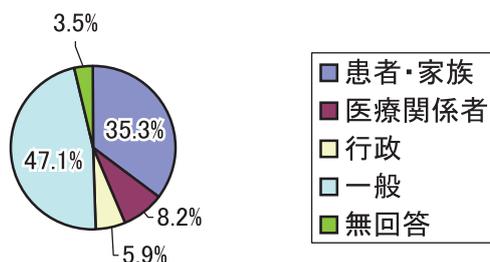
### 2. あなたの性別をお伺いします

項目	実数(人)	割合
男性	19	22.4%
女性	66	77.6%
合計	85	100.0%



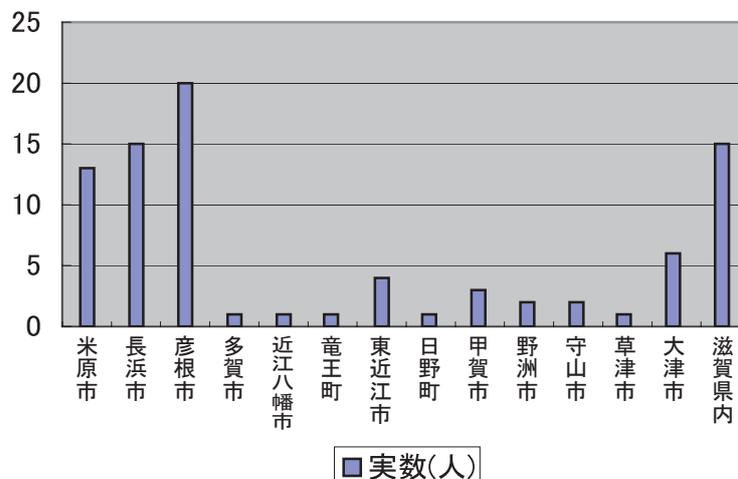
### 3. あなたは (患者・家族 医療関係者 行政 一般)

項目	実数(人)	割合
患者・家族	30	35.3%
医療関係者	7	8.2%
行政	5	5.9%
一般	40	47.1%
無回答	3	3.5%
合計	85	100.0%



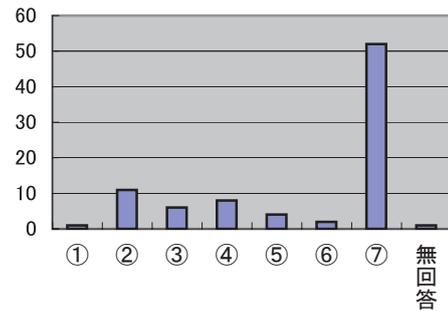
### 4. どちらにお住まいですか

項目	実数(人)	割合
米原市	13	15.3%
長浜市	15	17.6%
彦根市	20	23.5%
多賀市	1	1.2%
近江八幡市	1	1.2%
竜王町	1	1.2%
東近江市	4	4.7%
日野町	1	1.2%
甲賀市	3	3.5%
野洲市	2	2.4%
守山市	2	2.4%
草津市	1	1.2%
大津市	6	7.1%
滋賀県内	15	17.6%
合計	85	100.0%



## 5. この「がんイベント」を知ったきっかけは何ですか

項目	実数(人)	割合
①ポスターをみて	1	1.2%
②置いてあった案内チラシをみて	11	12.9%
③街頭で配布されたチラシをみて	6	7.1%
④県のホームページをみて	8	9.4%
⑤テレビ放送をみて	4	4.7%
⑥FMラジオをきいて	2	2.4%
⑦その他	52	61.2%
無回答	1	1.2%
合計	85	100.0%



### <「②」の具体的記載>

- ・病院(長浜市民病院、大津日赤病院、近江八幡市立医療センター)
- ・健康推進員理事会 ・滋賀銀行 ・ひこね燦ぱれす 他

■実数(人)

### <「③」の具体的記載>

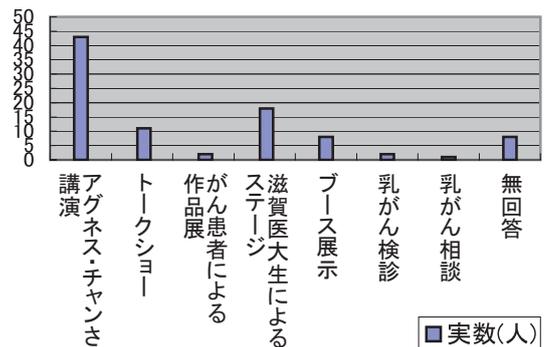
- ・平和堂米原店、JR米原駅、JR長浜駅

### <「⑦」の具体的記載>

- ・家族・親戚、友人・知人から ・関係者(県職員、患者会、健康推進員等)から
- ・回覧を見て ・FBを見て ・京都新聞 ・広報ひこね
- ・済生会病院での講演で ・草津健康セミナーで ・聖泉大学看護学部で

## 6. 今回の「がんイベント」で一番よかった催しを教えてください。(複数回答有)

項目	実数(人)	割合
アグネス・チャンさんの講演	43	46.2%
トークショー	11	11.8%
がん患者による作品展	2	2.2%
滋賀医大生によるステージ	18	19.4%
ブース展示	8	8.6%
乳がん検診	2	2.2%
乳がん相談	1	1.1%
無回答	8	8.6%
合計	93	100.0%



### アグネス・チャンさんの講演

- ・アグネス・チャンさんの歌が聴けてすごくよかった
- ・アグネス・チャンさんの体験談がすごくよかった ・涙がこぼれました
- ・ご自身のお話を下さり、元気を頂きました。これからも頑張って、みんなの“星”になって下さい。
- ・講演すばらしかった。リンパ腫で今も入院中で抗がん剤治療を受けている娘(39歳)に話してきかせたい。
- ・8年前に息子が何万人に一人という大病をし、アグネスさんのお話を聞いて大変感動した。家族の支えも大変だった。息子の気持ちが改めてよくわかった。

### トークショー

- ・緩和ケア＝終末医療と思っていたが、いつでも・どこでも・だれにでも受けることができるものと知った
- ・堀先生の意見がとても参考になった

### 滋賀医大生によるステージ

- ・すごくわかりやすく、又、がん患者に大いに勇気を与えるすばらしい内容だった。
- ・何か勇気づけられた ・今後の参考になった ・自分がそうだった時の事を思い出した
- ・最後のがん患者の言葉が印象的だった ・最後のスライドは心に響いた
- ・医大生が患者の気持ちや立場を理解できるように活動しているということがわかってよかった
- ・大変よかった。胸が熱くなり涙が出そうになった。立派なお医者さんになってください。
- ・将来を担う若者たちが患者側の視点に立ち、人の心の中に焦点を置いた取り組みをしている事は心強い
- ・多くの企業にてもしてほしい

### ブース展示

- ・米原市の健康推進員の減塩コーナーがよかった 家でもやってみようと思った
- ・大腸のこと(プレイブサークル)を色々教えてもらった
- ・各ブースで親切に話しかけられ、質問に答えてもらった

## 7. 今後の「がんイベント」で取り上げて欲しい内容があれば、ご自由にお書きください。

- ・がんと闘っている人の話を聞きたい
- ・復職の支援
- ・患者の会、相談センターの詳細
- ・患者の家族に対するケアについて
- ・グリーンケアについて
- ・在宅看取りについて
- ・医療・治療費のことについて
- ・薬の値段について
- ・がん治療の経済的支援
- ・がんの治療と副作用
- ・レントゲンの人体への影響について
- ・がんだけでなく、心の健康(心の悩み)なども取り上げてほしい
- ・がんを囲む多職種チームの事も聞きたい
- ・地域と医療とケアの連携の実際について知りたい
- ・乳がんについて医師による講演
- ・血液内科の話が聞きたい
- ・生命保険のこと(加入できないがんとかあるのか)
- ・がんの予防法
- ・特にないが、また開催してほしい

## 他

- ・プログラムの時間がだんだん早めになっていって、せっかくの講演を聞き逃すところだった。ロビーにいる人にも案内してほしかった。
- ・イベント開催についてもっと広く周知してほしい(JR)
- ・大津でも開催してほしい
- ・もっと近くでイベントしてほしい(八日市とか、近江八幡とか)
- ・開催時期を考えて欲しい。秋は冠婚葬祭で多忙
- ・抗がん剤をするべきか否か、アドバイスがほしい
- ・病気予防、健康維持の為の生活習慣と日常生活の留意事項を知りたい
- ・「がん」という病名を止めて何か明るい名前にできないものでしょうか

## 医大生のステージ

- ・滋賀医科大学生の発表はとてもわかりやすく工夫されていてよかった。できればパワーポイントの中の色々な支援が覚えられなかったので、資料を配られるとよかったと思う。
- ・滋賀医大生のステージの最後の字幕が早過ぎて読めなかったのが残念

## 乳がん検診

- ・乳がん検診を受ける事が出来てよかった。スタッフは女性ばかりで、親切にしてもらって、不安だったが安心して受けることが出来た。

## 乳がん相談

- ・手術後1カ月未満だったので、不安・悩みがあったが、気持ちの整理ができた

## 後援団体

一般社団法人滋賀県病院協会

一般社団法人滋賀県歯科医師会

一般社団法人滋賀県薬剤師会

公益社団法人滋賀県看護協会

公益社団法人滋賀県栄養士会

公益社団法人滋賀県放射線技師会

公益社団法人滋賀県臨床検査技師会

公益社団法人滋賀県理学療法士会

一般社団法人滋賀県作業療法士会

一般社団法人滋賀県歯科衛生士会

滋賀県保険者協議会

滋賀県健康推進員団体連絡協議会

滋賀産業保健推進連絡事務所

滋賀労働局

滋賀県市長会

滋賀県町村会

滋賀県商工会議所連合会

滋賀県商工会連合会

滋賀県中小企業団体中央会

一般社団法人滋賀経済産業協会

滋賀経済同友会

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

## 協賛団体

滋賀県生命保険協会  
大原薬品工業株式会社  
日本イーライリリー株式会社  
滋賀県医師会  
カイゲンファーマ株式会社  
株式会社近畿予防医学研究所  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社ファルコバイオシステムズ  
滋賀県民共済生活協同組合  
中外製薬株式会社  
日本電気硝子株式会社  
メディック  
ホロジックジャパン  
社会医療法人誠光会草津総合病院  
伏見製薬株式会社  
アフラック  
日本生命保険相互会社  
彦根商工会議所  
奥伊吹観光株式会社  
堀井薬品工業株式会社  
滋賀県がん対策推進議員連盟  
一般財団法人近江愛隣園今津病院  
大鵬薬品工業株式会社  
一般社団法人湖北医師会  
滋賀保健研究センター  
医療法人社団昂会  
医療法人幸生会琵琶湖中央病院  
日本化薬株式会社  
滋賀県医師協同組合  
エヌ・ティ・メディカル  
住友生命保険相互会社

(株) 石黒メディカルシステム  
タカタ株式会社  
長浜ソロプチミスト  
東芝メディカルシステムズ株式会社  
医療法人社団仁生会甲南病院  
株式会社大井製作所  
サノフィ株式会社  
社団法人京都微生物研究所  
コニカミノルタヘルスケア株式会社  
グラクソ・スミスクライン  
栄研化学(株)  
立木印刷  
フジ・テック  
医療法人堅田病院  
医療法人華頂会琵琶湖養育院病院  
有限会社メディカルブレーションわに薬局  
北ビワコホテルグラツィエ  
株式会社浜湖月  
医療法人社団阿星会甲西リハビリ病院  
社会保険滋賀病院  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団  
株式会社井筒屋  
長浜ロイヤルホテル  
サンスター株式会社  
株式会社四番町スクエア  
北川キルト縫工  
長浜商工会議所  
米原市商工会  
びわ湖放送株式会社  
株式会社エフエム滋賀  
中日新聞

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会委員

	氏 名	所属団体
実行委員長	越智 眞一	一般社団法人滋賀県医師会
実行委員	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会
実行委員	中山 初子	滋賀県がん患者団体連絡協議会
実行委員	鈴木 孝世	滋賀県がん診療連携協議会
実行委員	大杉 成聖	びわ湖放送株式会社
実行委員	武久 晋治	日本放送協会
実行委員	小菅 浩	アフラック
実行委員	永瀬 裕史	東京海上日動火災保険株式会社
実行委員	徳田 由晃	株式会社滋賀銀行
実行委員	谷 康彦	滋賀県がん対策推進議員連盟
実行委員	渡邊 光春	公益財団法人滋賀県健康づくり財団
実行委員	那須 安穂	滋賀県

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会事務局

公益財団法人滋賀県健康づくり財団(日本対がん協会滋賀県支部)内

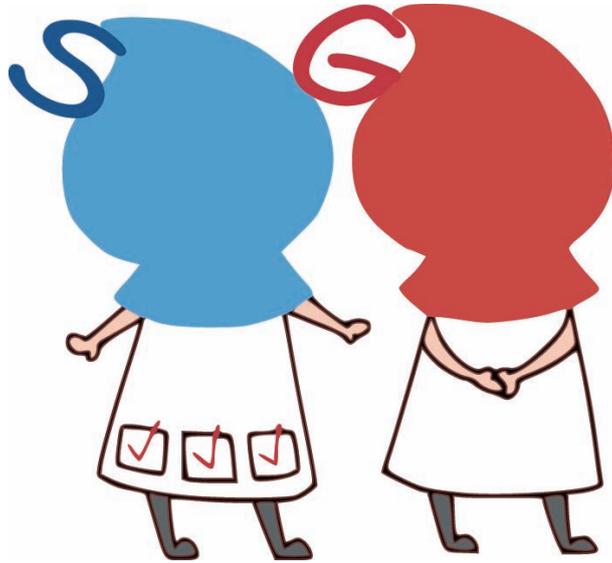
〒520-0801

滋賀県大津市におの浜四丁目4-5

TEL:077(525)2733

FAX:077(521)0471

E-mail:[info@kenkou-shiga.or.jp](mailto:info@kenkou-shiga.or.jp)



滋賀県健康づくりキャラクター しがのハグ&クミ

滋賀県がん対策推進イベント  
～広げよう！がんの知識とささえ愛～  
実施報告書  
平成 26 年 2 月発行

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会  
〒520-0801

滋賀県大津市におの浜四丁目 4 番 5 号  
(公益財団法人滋賀県健康づくり財団内)

TEL:077 (525) 2733

FAX:077 (521) 0471

URL:<http://www.kenkou-shiga.or.jp>

\*この実施報告書は、滋賀県 HP および上記財団 HP よりダウンロードが可能です